



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 木幡 智清
幹事 星 行夫
SAA 高萩 勝利
会報小委員 今泉 敏徳

○例会日 毎週水曜日 (12:30 ~ 13:30) ○事務局 TEL/FAX (0246) 56 - 3473
○例会場 ホテルミドリ E-mail:info@iwakinakoso-rc.jp

第 2797 回 例会 令和元年 11 月 27 日 (水・曇)

2019 - 20 年国際ロータリーのテーマ
ロータリーは世界をつなぐ

会員卓話 富澤藤利会員

ロータリーソング 奉仕の理想
— 今月はロータリー財団月間です —



4 つのテスト
細田 誠一 会員

◎会長報告—嵐 繁雄副会長



皆さん、こんにちは。木幡会長が先程体調を崩されお帰りになりました。代理で会長報告を急遽することになりました。この所急に気温が下がって参りました。寒い日が続いております。体調にはくれぐれも注意をしていただきたいと思います。私もインフルエンザの予防注射を今日受けて参りました。極力感染しないようにしたいと考えています。皆さんも早目に予防接種注射を受けて下さい。本日例会終了後に臨時理事会を開くことになっています。議題は次年度の役員承認になります。理事者の方はお残り下さい。

◎幹事報告—星 行夫幹事

- ・ 只今回覧中の物を紹介します。12月のプログラムがいわき平東ロータリークラブ、いわき平ロータリークラブ、いわき平中央ロータリークラブから届いています。
- ・ ロータリーより、ザ・ロータリアン誌が届いています。
- ・ いわき分区より新会員合同研修セミナー開催のお知らせということで、1月15日(水)に予定されています。新入会員の方宜しくお願いします。
- ・ 第3回会長幹事会の案内も届いています。12月16日(月)です。
- ・ 臨時理事会の議事録も回覧中です。

・ 本日例会終了後に臨時理事会を開催しますので宜しくお願いします。

◎各委員会報告

◇出席委員会—佐藤政司小委員長

本日の出席状況は下記の通りです。

◇スマイルボックス委員会

—富岡幸広副委員長

- ・ 朝晩の寒さには気をつけ風邪などひきませんように。生駒、富岡、清水、富澤、渡邊(貴)、金成(通)、高萩、林、赤津(善)、木村(博)、畠山、川口、今泉各会員及び嵐副会長、越田和会長エレクト、星幹事、細田副幹事
- ・ ゴルフ愛好会で優勝させていただきました。

◇親睦活動委員会—木村博昌委員

- ・ 前回休んでごめんなさい。生駒、橋本各会員及び越田和会長エレクト
- ・ 本日早退ごめんなさい。

◇親睦活動委員会—木村博昌委員

各会員へはファックスにてご案内はしておりますが、12月18日(水)クリスマス家族例会が開催予定です。只今出席会員23名になっております。まだ、出欠のお返事をいただいている方がいましたら11月30日(土)までにミドリに出欠ファックスを宜しくお願いします。

◎卓話—国際奉仕委員会 富澤 藤利 国際化への対応



本演題をとり上げた理由

1. 国際立地企業

・ 「グローバル化」の波に必ず晒される。

2. 国際競争力

・ 耐えられなければ、零細企業に甘んじなければならない。

3. まるで「ドメスチック」

・ 日本国内が分からなくなる。(企業を弱体化)

I. 海外プロジェクトへの参加と提案した海外プロジェクト

①ボルゴグラードプロジェクト (1966年)

クレハの存続を賭けた「ナフサの火災分解による塩化ビニルモノマーの製造とそれを原料にした塩化ビニル樹脂の製造」—— 技術輸出

②シンガポールプロジェクト (1990年)

クレハが独自で海外に初めて建設したモディファイヤーの事業拡大のための生産拠点構築プロジェクト

③南通プロジェクト (2000年)

クレハ・漯河双滙・豊田通商が合弁で南通市に立地した塩化ビニリデン樹脂・コンパウンド事業拡大のための生産拠点構築プロジェクト

II. 国内事業所の再構築

(連結子会社 34社)

海外での体験を踏まえて、グローバルな大競争の中で如何に競争力ある事業所に変えたか

「あるべき姿への対応」

世界のトップレベルの生産技術を有する生産拠点……技術のクレハを標榜して来た

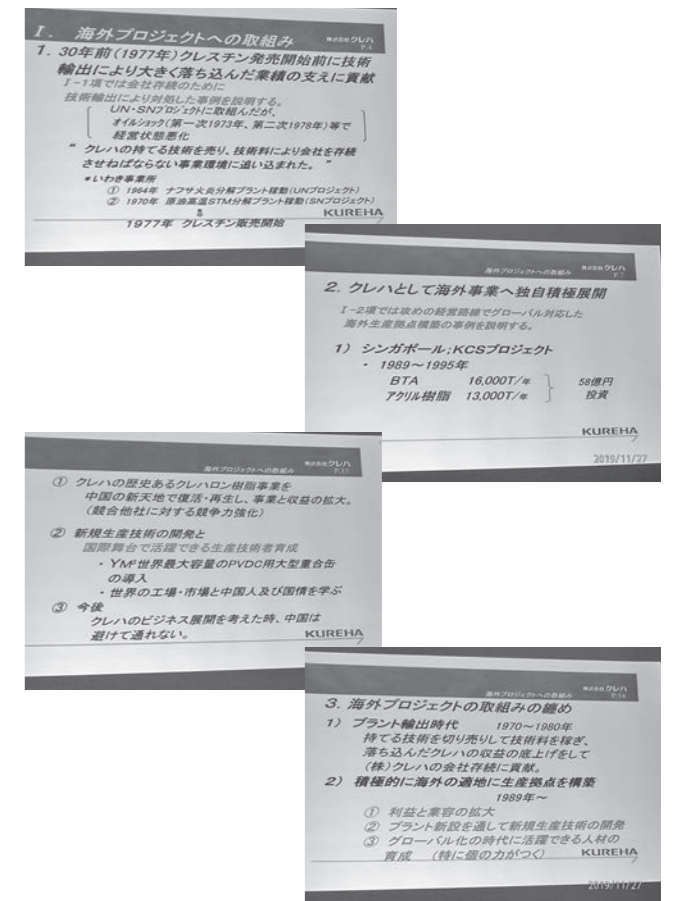
具体的な対応策「経営路線の舵を切った」

2002年グローバルに競争出来るスペシャリティ製品事業に特化……PVC、モディファイヤー、LTX等の事業から撤退

(KPS、VDF 特殊カーボン PGA樹脂

開発・等に特化)

2003年いわき事業所の再構築……連結経営の強化、オールクレハとしてRC活動強化



この度福島大学から「これからの日本経済を担う若者に是非読んで貰いたい本なので、教科書として採用させて欲しい」旨の連絡がありました。

「もの書き」を始めて、ようやく一丁目一番地に辿り着くことが出来ました。自分の仕事、世の中のために役に立つことが出来たことに感謝しています。

下記の文章は、本件について(株)クレハの社内グループWEBに載ったものです。

グループトピックス

クレハOBの著書 大学の教科書に採用

2017年12月22日

元(株)クレハ代表取締役専務いわき工場長・富澤藤利さんの著書「赤い大国と成長センター」が福島大学の教材として使われています。富澤さんは退職後、これまでに3冊の本を上梓、現在4冊目の本を執筆中です。2冊目の当書は、同大学地域創造支援センターより要請を受け国際化対応の教材として採用されました。当書は、富澤さんが深く関わったソ連でのボルゴグラードプロジェクト (PVCプラント建設と保証運転)、シンガポールプロジェクト (樹脂改質剤プラント建設)、中国の南通プロジェクト (PVDC合弁プラントの建設と保証運転) について書き下したものです。貸出も可能ですので、ご希望の方はKRI総務部、またはKRH広報・IR部までお問い合わせください。

出席状況	正会員数	50名	カード出席	5名
	本日出席会員数	30名	本日の修正出席率	71.43%